



森林ふれあい情報

令和5年4月

第61号

林野庁中部森林管理局

木曽森林ふれあい推進センター

〒397-0001 長野県木曽郡木曽町福島5473-8

TEL: 0264(22)2122

E-mail: kiso-fureai@maff.go.jp

過日、森林ボランティア・NP0連携推進会議実行委員会で菅平高原を訪れました。当日は下界の快晴とは打って変わって雪が降る寒い一日でした。

この場所は、夏季はラグビー等の合宿地として、また、冬季はスキー場として有名な地域で、日によっては最低気温が日本一を記録することもあります。

この号が発刊される頃は、春の訪れを感じることができると思います。

木曽地区ニホンジカ獣害対策勉強会の開催

2月20日（月）、長野県木曽町の木曽地域振興局において、木曽地域では初めてとなる「令和4年度木曽地区ニホンジカ獣害対策勉強会」が開催され、木曽郡内の各町村、猟友会、長野県及び中部森林管理局・署等の関係者約80名が参加しました。

この勉強会は、近年ニホンジカの生息数増加により全国的に森林被害が広がりを見せる中で、木曽地域でもセンサーカメラ撮影等により生息の拡大が認められ今後の被害拡大が懸念されることから、この地域の現状と今後の対策等について情報共有を図り、獣害対策に繋げることを目的として開催されたものです。

初めに（一財）自然環境研究センターから長野県の取組として「令和4年度広域捕獲活動緊急支援事業 浅間山県境部での状況調査の事例」の調査発表があり、次に当センターから「国有林におけるニホンジカ被害対策の取組」と題し、センサーカメラ等によるシカの生息状況やクマ錯誤捕獲防止の実証試験について報告を行いました。

最後に（国研）森林総合研究所から、「ニホンジカの生態と被害対策-木曽地区の森林について」の発表をしていただき、雌ジカは長寿で毎年出産するため、年率20%ずつ個体数が増加するという興味深い話がありました。

発表後は、参加者から「ニホンジカの足跡や糞の特徴」、「保護政策開始前のニホンジカの生息状況」等について質問等が出されました。

この勉強会を通して、現在の捕獲を継続しつつ、今から担い手の育成や関係機関等との地域連携を行っていくことが重要との認識が共有ができました。



勉強会の様子



発表する山本自然再生指導官

森林ボランティア・NPO連携推進会議 実行委員会を開催

2月14日（火）に「令和4年度第1回森林ボランティア・NPO連携推進会議 実行委員会」を事務局がある長野県上田市菅平高原のNPO法人やまぼうし自然学校で開催しました。

当日は実行委員5名と1団体の代表がWEBも使用しながら会議を行い、「令和5年度の森林ボランティア・NPO連携推進会議」について、実施内容、開催時期等の議論を行いました。

この会議は、ここ数年新型コロナウイルスの影響により、規模の縮小や中止を余儀なくされていましたが、次年度は感染対策が緩和されるとの情報もあることから、会議は今後の感染状況を見極めつつ開催する方向とし、計画的に準備を進めることを確認して終了となりました。



実行委員会の様子

事務所移転

当センターの事務所は、平成24年から木曽町の庁舎建物の一部を借り受けていましたが、令和4年11月24日（木）に（国研）森林総合研究所の旧木曽試験地庁舎の一部に事務所を移転しました。

少し道幅が狭いですが、お近くに来られた際には、是非お立ち寄りください。



庁舎全景

木曽森林ふれあい推進センター案内図

